

全国学校・園庭ビオトープコンクール2017 発表と交流大会

2018年2月11日(日) 13:00-16:00
東京大学
伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

13:00 第1部

「伊藤謝恩ホール」内にて

13:00 開会

開会のあいさつ
池谷奉文 (公財)日本生態系協会 会長
秋篠宮殿下のおことば
来賓のあいさつ
文部科学省、環境省、国土交通省、ドイツ大使館

13:25 表彰式

上位5賞の受賞校・受賞園への賞状授与
★その他の賞状の授与は、第2部の時間にホール内にて行います。

13:50 上位5賞受賞校・受賞園の取り組みの発表

文部科学大臣賞
豊田市立 五ヶ丘東小学校 (愛知県)
環境大臣賞
栃木県立 那須拓陽高等学校 (栃木県)
国土交通大臣賞
世田谷区立 等々力小学校 (東京都)
ドイツ大使館賞
(学)青森田中学園 青森中央短期大学 (青森県)
日本生態系協会会長賞
富田林市立 錦郡幼稚園 (大阪府)

14:50 講評

佐島群巳氏 東京学芸大学 名誉教授 / 帝京短期大学 名誉教授
三島次郎氏 桜美林大学 名誉教授

15:05 第2部

15:05 ポスター発表 「多目的スペース」にて

日本生態系協会賞、学校・園庭ビオトープ奨励賞 賞状授与

「伊藤謝恩ホール」内にて

16:00 閉会

★『発表と交流大会』は、ビオトープ管理士継続教育の“特別認定ポイント”が適用されます(9ポイント)。参加証明書をお求めの方は、閉会后、受付にお申し出ください。

16:30 祝賀懇親会

「多目的スペース」にて

参加費 大人 3,500円、高校生以下 1,500円
★事前申込のほか、当日も受け付けます。

ポスター発表

上位5賞・日本生態系協会賞の受賞校・受賞園

発達段階・地域順

- 幼稚園・保育所・こども園
 - (学)山の手学園 平和幼稚園 (北海道)
 - (社福)久祐会 東峰保育園 (栃木県)
 - (学)聖明学園 古和釜幼稚園 (千葉県)
 - (社福)砂原母の会 そあ保育園 (東京都)
 - 小学館アカデミー西いくた保育園 (神奈川県)
 - (学)平岡学園 平岡幼稚園 (神奈川県)
 - 新潟市立 沼垂幼稚園 (新潟県)
 - 伊那市立 高遠第2・第3保育園 (長野県)
 - (学)雪見ヶ丘学園 幼保連携型認定こども園 井上幼稚園 (愛知県)
 - (社福)得雲会 青松こども園 (愛知県)
 - 富田林市立 青葉丘幼稚園 (大阪府)
 - (社福)杉の実福祉会 高見の森保育園 (福岡県)
 - (社福)心耕福祉会 幼保連携型認定こども園 ひかりの森こども園 (宮崎県)

● 小・中・高等学校

- 栃木県立 那須拓陽高等学校 (栃木県)
- 所沢市立 安松小学校 (埼玉県)
- 上尾市立 大石北小学校 (埼玉県)
- 港区立 高輪台小学校 (東京都)
- 世田谷区立 等々力小学校 (東京都)
- 静岡県立 三島南高等学校 (静岡県)
- 豊田市立 五ヶ丘東小学校 (愛知県)
- 甲賀市立 油日小学校 (滋賀県)
- 廿日市市立 宮園小学校 (広島県)

● 大学ほか

- (学)青森田中学園 青森中央短期大学 (青森県)
- 東京理科大学 野田キャンパス (千葉県)

ビオトープを实践・支援している団体・企業

五十音順

- 積水化学工業(株)
- ビオトープ・ネットワーク中部 (愛知県)*
- 明治連合振興町会・明治小校下子ども会 (大阪府)
- ライオン(株)

*日本ビオトープ管理士会中部支部

再生紙使用

全国学校・園庭ビオトープコンクール2017 発表と交流大会



全国学校・園庭ビオトープコンクール2017

主催 (公財)日本生態系協会
後援 文部科学省、環境省、国土交通省、農林水産省、厚生労働省、ドイツ連邦共和国大使館、全国公立幼稚園・こども園長会、全国私立幼稚園連合会、(社福)全国社会福祉協議会 全国保育協議会、(社福)日本保育協会、(公社)全国私立保育園連盟、NPO 法人全国認定こども園協会、全国小中学校環境教育研究会、(公社)日本ナショナル・トラスト協会、日本ビオトープ管理士会 協賛 (株)アボック社、カシオ計算機(株)、自然の会(有志出版社)、(一財)土屋環境教育振興財団、(株)フォーバル



全国学校・園庭ビオトープコンクール2017 上位5賞の受賞校・受賞園

“身近な自然”をつくる —遊ぶ・学ぶ・考える・協働する—

このコンクールは、子どもたちのために身近な自然をつくること、そして、環境教育の場、感性や思いやる心を育む場としての活用を促進することを目的としています。

1999年から隔年で開催し、第10回(20年目)となる今回まで、多くの実践モデルを紹介してきました。

審査観点

審査は、学校・園庭ビオトープを通じて環境教育や自然体験活動を進めていく際の“ポイント”を6つの観点に整理し、それをもとに行われました。

- 地域の自然をお手本とし、地域の生きものがくらしやすいよう工夫しているか。
- (特に小学生以上においては)取り組み全体を通じ、子どもたちが積極的、主体的に関わっているか。
- 取り組み全体を通じ、保護者や地域住民、環境NGO、行政機関、団体・企業などと継続的に連携しているか。
- 子どもたちの豊かな感性を育むために、学校・園庭ビオトープを積極的に活用しているか。また、様々な教科や特別活動で、広く教材として活用しているか。
- 学校・園庭ビオトープを育成管理し、活用を継続するための、体制が整っているか。
- 取り組みを地域に発展させ、ビオトープのネットワークや人と人のつながりを広げていく視点を持っているか。

受賞校・受賞園のなかでも大臣賞、会長賞などの「上位5賞」は、学校・園庭ビオトープの実践モデルとなる優れた取り組みであるとして表彰されたもので、特に際立って秀でていると評された特徴をもとに各賞が決定されています。

★ 上位5賞は発達段階の枠にとらわれないものではありません。また、上位5賞の位置付けに優劣はありません。

★ 日本生態系協会賞、学校・園庭ビオトープ奨励賞の受賞校・受賞園は、別紙の一覧をご覧ください。



文部科学大臣賞

学校・園庭ビオトープの実践モデルとなる優れた取り組みを行うものうち、特に体験活動や学習活動の内容・成果が秀でているとして表彰されました。



豊田市立 五ヶ丘東小学校 (愛知県)

地域にかつてあった自然を学校内外で取り戻すことを題材に、各学年の児童が探究するモデル

各学年においてビオトープの活用が行われるように、教育課程にビオトープを題材にした学習活動を位置づけています。調べ学習や情報発信など様々な活動を通じて、児童の主体的な学ぶ力が育っています。

環境大臣賞

学校・園庭ビオトープの実践モデルとなる優れた取り組みを行うものうち、特に野生の生きもののすむ「ビオトープ」の質が秀でているとして表彰されました。



栃木県立 那須拓陽高等学校 (栃木県)

ビオトープを通じて農業における生物多様性の保全を模索できる人材を育成するモデル

学校農場全体を大きなビオトープと考え、環境悪化の要因とされてきた農業における生物多様性の保全のあり方を各生徒が探究しています。その一環で絶滅に瀕するミヤコタナゴの野生復帰にも取り組んでいます。

国土交通大臣賞

学校・園庭ビオトープの実践モデルとなる優れた取り組みを行うものうち、特に人と自然が共存するまちづくりにつながる観点が秀でているとして表彰されました。



世田谷区立 等々力小学校 (東京都)

児童の主体性を育て、地域の希少な野生の生きものを救う活動につなげたモデル

自然を題材とした各教科の授業をかためて行うことで、児童自身の想いが高まり、自らの発想で地域の希少な野生生物を守ろうとビオトープを拡充しました。この想いの高まりは他学年にも波及しています。

ドイツ大使館賞

学校・園庭ビオトープの実践モデルとなる優れた取り組みを行うものうち、学校・園庭ビオトープを題材にユニークな体験・学習活動を行っているとして表彰されました。



(学)青森田中学園 青森中央短期大学 (青森県)

保育者養成にビオトープを全学体制で活用するモデル

自然の活用に長けた保育者養成に全学体制で取り組んでいます。そのため、カリキュラムの中にビオトープを活用した授業を系統的に採用し、その発展的学習として地域と協働したサークル活動を行っています。

日本生態系協会会長賞

学校・園庭ビオトープの実践モデルとなる優れた取り組みを行うものうち、特に地域とのパートナーシップの観点が秀でているとして表彰されました。



富田林市立 錦郡幼稚園 (大阪府)

園児の感性や思考力を育み、命を感じながら自然と共に生活する場を積極的に広げるモデル

園児の発想から始まったビオトープ。地域の多様な主体と連携しながら、心動かされる体験の場を園児と一緒に広げています。自然環境教育を通じ、豊かな感性や思考力の芽生えを育み、人間力につなげています。

